



黒沢一成議員

保育料

実情に合った減免措置を

現状の制度のまままで

質問 現在、保育園の保育料や私立幼稚園の就園奨励費は、前年の所得税額などによって決められている。前年と同程度の収入がある場合は問題ない。しかし、企業のリストラ、倒産などによる失業、離婚、別居など、所得が激減した場合に保育料の支払いが困難となる例がある。このような場合の減免措置は考えられないのか。

沼崎町長 本町の保育料は、国の徴収基準を基にして所得階層と児童の年齢階層により決定しており、国の基準による軽減も図っている。

失業などによる所得の減収に対しての減免は、制度化されていない。しかし、保育園は、保育に欠ける児童を対象としているので、求職活動で保育に支障があれば入所は許可している。

特に母親が失業した場合は、継続入所などの検討を願っている。

年度途中において父母の離婚や親が死亡した場合は、入所児童と同居される保護者に保育料の納入が発生するので、算定の見直しを行っている。

別居した場合でも、両親には親権があるので、両親の所得により保育料を決定することになる。



子供たちの幸せを考え、子育てを支援することは大事なことです（船越保育園）

道徳教育の心構えは

学校教育

自らも成長する姿勢

質問 県内において教職員の不祥事が跡を絶たず、情けない限りである。幸いにも本町ではその様な話はないが、同じ県の職員に変わりはしない。道徳教育についての基本的な心構えをどう考えているか。また、教員

の資質について見解を問う。**松尾教育長** 教師は教育の専門家である。人は皆、未熟さや弱さも持っている。このため、教師には常に自分と向き合う姿勢が大切である。一部の教職員のこの欠如が、昨今の不祥事に表

れており、言語道断といわざるを得ない。道徳教育は教師の態度・言動、それを支える心構えにより大きく変わる。このため、教師は自らの弱さもしっかり自覚し、その上で児童生徒の健全育成に全力を尽くすという使命感・倫理観を持たなければならぬ。人間の素晴らしさ、良さを求めようとする姿勢、どんな児童生徒も平等に大切にしようとする姿勢、教育活動を生きがいとする姿勢が何よりも大切である。



心のありかたを教える「道徳教育」は、次の時代を担う子供たちの健全な成長に大切なことです（山田中学校ラーニングセンター）



川村敬一議員

環境整備

嶋田地区の道路・排水設備の改善を

地元の協力が前提となる

質問 環境整備について次の四点を問う。
①嶋田地区の道路、排水の一日も早い改善を望む。
②嶋田橋から国道45号までのアクセス道路は個人の土地で、未解決のままである。この際きちんとすべきである。
③旧田畑鉄工所付近の町道で、国道横断のため一時

停止すると、路面勾配があるため、再発進に非常に困難している。交通事故誘発のおそれがあり、改善すべきと考える。
④たい肥センター建設の進捗状況は。また、ランニングコストの低い設備にすべきと考えるが。

沼崎町長 ①当地域の課題解決のため

には、何よりも地元の協力が前提になると考えている。
②この土地は個人所有と

農村整備

中山間総合整備事業の見通しは

推進委員の協力を得て努力する

質問 ①田名部川流域地区中山間総合整備事業の見通しは。
②上豊間根集会所施設建設の見通しは。

沼崎町長

①昨年度の県営事業の見直し時点で、平成十八年度以降の実施見込みとなる。現在、県営事業調査費で用地の現況確認作業などが進められており、本事業の推進委員の方々には積極的な取り組みをいただき感謝している。現在の作業が終了する

と、営農構想作成、整備計画作成、換地原案作成と進むが、推進委員の協力を得ながら努力する。
②平成十四年九月に地元からの要望を受け、予定地の境界確認などは完了した。この間、建設に有利な補助メニューなどを検討してきたが、県の行財政改革方針で新規事業の採択も厳しく、平成十六年度の建設は困難である。これから、建設規模や財源確保などについて、検討する。



改善が望まれる嶋田地区の排水路（町道島田線）

町の考えを聞く